

(抗シワ評価)線維芽細胞由来 エラスターゼの活性抑制

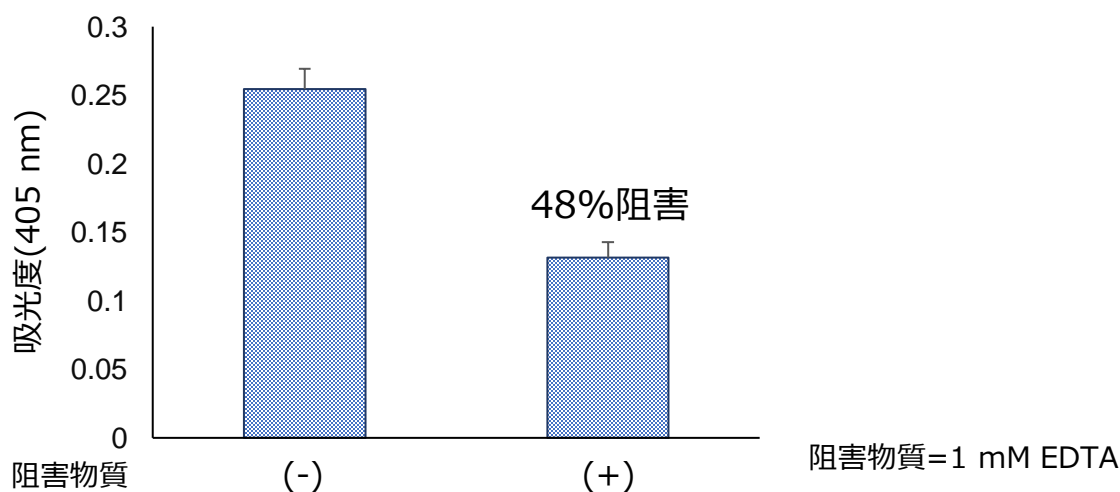


SUSCARE

1. 測定条件

ヒト正常線維芽細胞から粗酵素液を抽出後、1 mMのEDTA(阻害物質)と合成ペプチド基質(STANA)とともに3時間、インキュベートしました。インキュベート後に405 nmの吸光度を測定しました。

2. 測定結果



3. 測定結果から得られる情報

細胞外マトリックス分解酵素であるエラスターゼの阻害活性を評価することで、シワやハリに効果のある可能性がある化粧品成分を見出すことができます。

※料金など、詳細は[お問い合わせ](#)ください。

2020/3/26